



平成 24 年 2 月 13 日

各 位

東京都墨田区吾妻橋三丁目3番2号
株式会社ペッパーフードサービス
代表取締役社長 CEO 一瀬 邦夫
(コード番号: 3053)
問い合わせ先 管理本部 総務部長 猿山 博人
電話番号 03 (3829) 3210

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日発表の「平成 23 年 12 月期決算短信」において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、会社経営上余裕を持った一定の資金水準を確保できていないことから、資金繰りの懸念が完全に払拭される状況にはなく、「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。

当社は、当該状況を解消すべく、経営計画を達成することにより得られる資金の拡大に努めてまいりました。お客様の満足度を高めることを基本戦略として売上高の増大を図るとともに、仕入原価を中心としたコストの低減を図ることによって収益基盤の強化をさらに目指してまいりました。これらの施策により、第 4 四半期会計期間の業績につきましては、おおむね経営計画通りの実績を残しました。通期の業績に関しましても、営業利益 133 百万円(前年同期比 83.8%増)、経常利益 130 百万円(前年同期比 680.3%増)、当期純利益 28 百万円(前年同期は 79 百万円の当期純損失)と利益面では黒字化を達成し、大幅な業績改善を行うことができました。営業活動におけるキャッシュ・フローも 256 百万円となり、当期末の保有資金残高は前期末に比べて 82 百万円増加し、137 百万円となりました。この額は、金融機関及び取引先に対する借入金を実に継続的に実行返済できる、一定の資金水準にあると判断しております。また、今後取引先からの財務支援の実施表明もあることから、借入金の返済条項の履行の困難性も払拭されております。

以上により、当社の期末の保有資金、今後の経営計画及び財務、収益基盤を勘案したうえで、継続企業の前提に関する重要な疑義を抱かせる事象又は状況は存在しないものと判断いたしましたので、平成 23 年 12 月期に係る財務諸表において、当該注記の記載を解消することといたしました。

株主をはじめとするステークホルダーの皆様には、これまで大変ご心配お掛けいたしました。今後もより一層の安定した財務体制の構築を推進するとともに、更なる業績向上と企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援・ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

以 上